

ロクマックス® マット

取扱説明書

床用キット

本製品をお買い上げ頂きありがとうございます。ご使用前に本取扱説明書、施工要領書、国土交通大臣認定書をよくお読みのうえ、現場の状況に合わせて正しく施工してください。

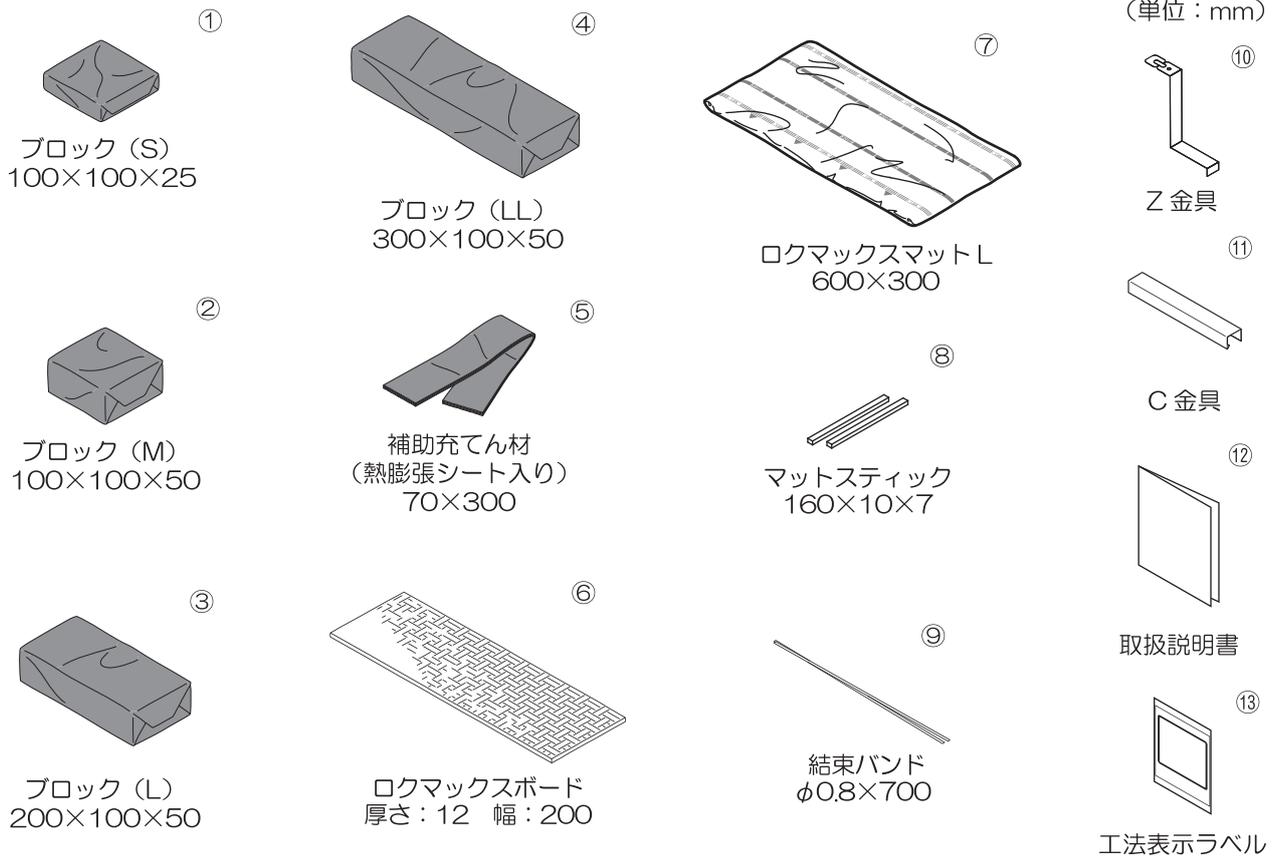
〈品番一覧・キット内容〉はじめに、ご購入された製品が下記のとおり付属しているかご確認ください。

品番	開口面積 (m ²)	標準開口寸法 (mm)	ブロック ^{*1} (個)				⑤ 補助充てん材 (枚)	⑥ ロクマックスボード ^{*2}		⑦ ロクマックスマットL ^{*3} (枚)	⑧ マットスティック (枚)	⑨ 結束バンド (本)	⑩ Z金具 (本)	⑪ C金具 (本)	⑫ 取扱説明書 (枚)	⑬ 工法表示ラベル (枚)
			① S	② M	③ L	④ LL		長さ (mm)	入数 (枚)							
FXMT016	0.14~0.16	800×200	6	6	3	3	2	800	1	3	12	6	6	3		
FXMT020	0.18~0.20	1000×200	8	7	5	3	3	500	2	4	16	8	8	4	1	1
FXMT024	0.22~0.24	1200×200	12	8	5	4	3	600	2	5	20	10	8	4		

※1 占積率が20%以上の場合を想定した構成です。占積率が低く、ブロックが不足する場合は、RXB-SS等をご購入ください。

※2 ロクマックスボードの寸法は、標準開口寸法に合わせています。

※3 ロクマックスマットが不足する場合は、別売品 (RXMT-L等) をご用意ください。



現場の施工条件により以下の部材が必要になります。

別売品	
製品名 (品番)	適用条件*
ロクマックスシート (RXST130)	<ul style="list-style-type: none"> • 導体サイズ 200mm² 超~1600mm² 以下の電線、ケーブル • PF、CD管 (呼び 28~54) • FEP管 • 鋼製電線管の端部 • 金属製可とう電線管の端部、胴体部

※ 適用条件・施工方法の詳細は、施工要領書や各製品に付属している取扱説明書をお読みください。

施工手順：床工法

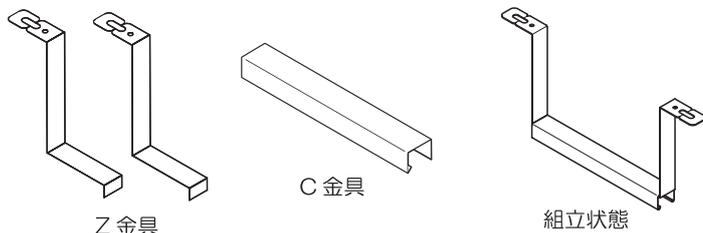
※ 国土交通大臣認定条件を必ずご確認ください、施工してください

① 開口部、貫通部の確認

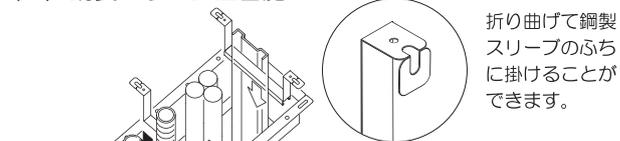
- 開口部の大きさ、床の構造・厚さ、貫通物の種類・サイズ・占積率などが認定範囲に適合しているか確認します。（詳細は、施工要領書および認定書をご確認ください。）

② Z金具・C金具（支持金具）の設置

- Z金具2本とC金具1本を組み合わせます。

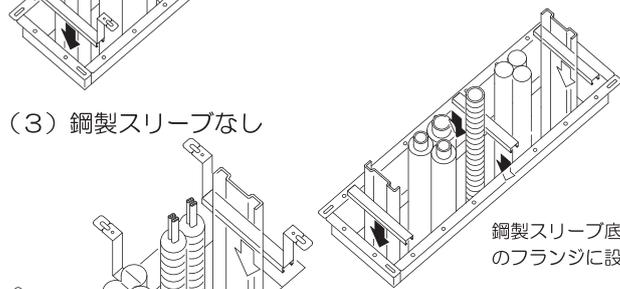


(1) 鋼製スリーブ上面施工



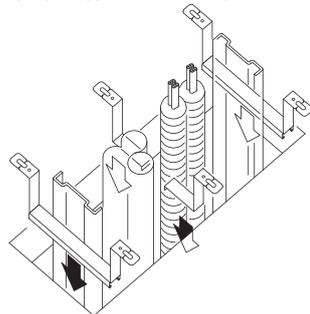
折り曲げて鋼製スリーブのふちに掛けることができます。

(2) 鋼製スリーブ下面施工



鋼製スリーブ底部のフランジに設置

(3) 鋼製スリーブなし



- 開口部の状況に応じて、支持金具を設置してください。（右図（1）～（3）を参照）
- 支持金具の設置個数は、下記表が目安です。

支持金具の設置個数の目安

開口幅 (mm)	個数
400 以下	両端 2 組
400 ~ 800	両端 2 組、中間 1 組
800 ~ 1200	両端 2 組、中間 2 組
1200 ~ 1500	両端 2 組、中間 3 組

⚠ 単心の電力ケーブルが貫通する場合、同一回線のケーブルの間に支持金具を設置しないでください。

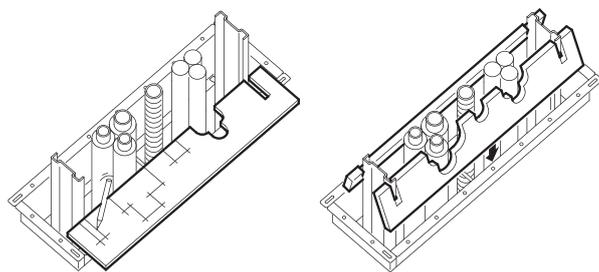
- Z金具のビス穴は、躯体や鋼製スリーブに固定したいときに使用してください。

③ ロクマックスボード（支持板）の加工・設置

- ケーブル等の配線状況やケーブルラックの形状に合わせてけがき、カッター等でカットしてください。
- 切りすぎた場合は、市販のアルミテープで補修してください。
- 加工した支持板は、支持金具の上にとっかりと乗るように設置してください。

- RXMT020、024 のボードは 2 分割されています。分割されたボードは、それぞれを 2 組以上の支持金具で支持してください。

⚠ カッターご使用時は保護手袋などの保護具を着用してください。

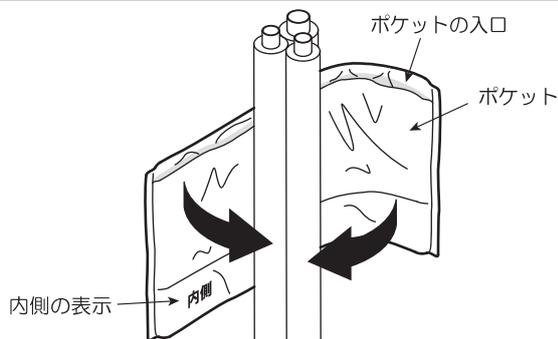


④ ロクマックスマットの巻付け

① ※ブロック充てん前に作業してください

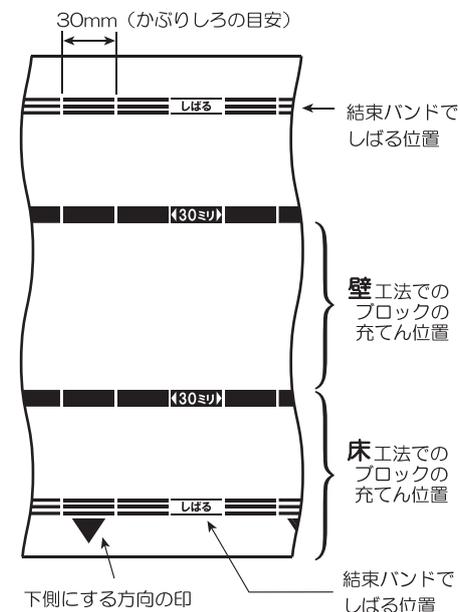
- ロクマックスマットのポケット側が内側になるように貫通物に巻き付けます。その際、ポケットの口が壁施工の場合は手前、床施工の場合は上側に向くようにしてください。

- ロクマックスマットは連結して使用できません。1 箇所（1 つの配管の束）に対して、1 枚のロクマックスマットで施工してください。
- ケーブルラックの子桁がある場合は、ロクマックスマットが子桁の上に来るように巻き付けてください。
- ケーブルラックの親桁、鋼材、貫通物の支持金具等のケーブル・配管以外のものをケーブルや配管と一緒に巻き付けないでください。



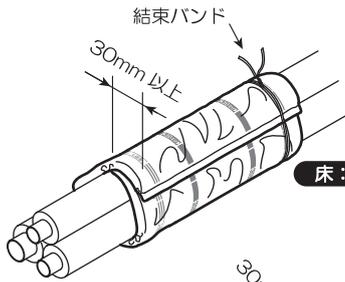
ロクマックスマット表面の印刷について

施工時における向き、結束バンドの位置、ブロックとの位置関係に注意してください。



②

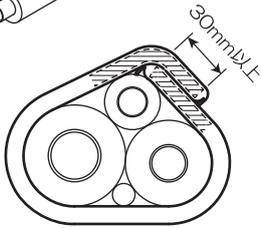
- ロクマックスマット表面の「30 ミリ」の表示を目安に、巻き終わり部分のかぶりしろが 30mm 以上になるように重ねて、「しぼる」表示の位置を目安に結束バンドで縛ります。
- 結束バンドは容易に外れないよう、数回ひねって軽く締め込みます。



床：下側



結束バンドは、配管の保温材が凹むほどきつく締め込まないでください。

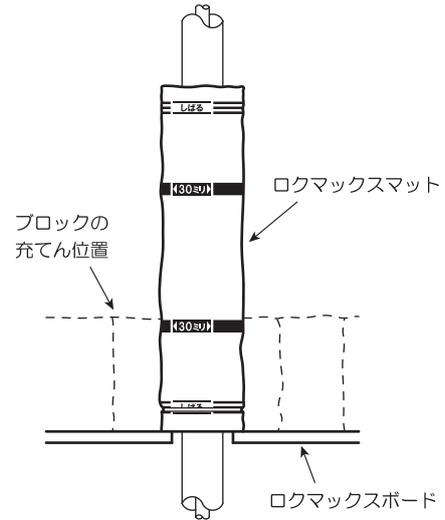


かぶりしろは、ロクマックスマットの厚みがある部分を重ねた寸法としてください。

(ヒートシール部分やダブつき部分の長さはかぶりしろに数えないでください。)

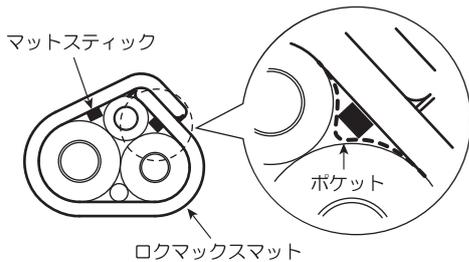
③

- ロクマックスマットの表面の印刷を目安にして、ロクマックスマットをブロックの充てん位置に合わせます。

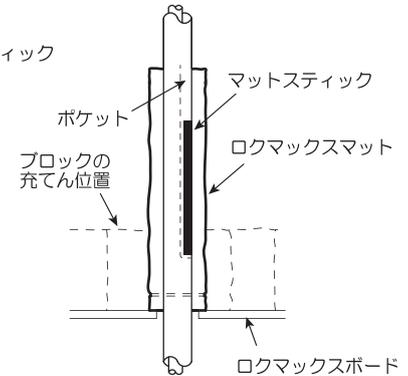
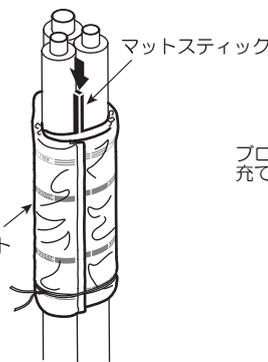


④

- 配管の谷間には、マットスティックをロクマックスマット内側のポケットに入れながら奥まで差し込みます。隙間が大きな場合は、複数本差し込みます。



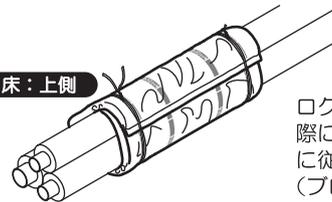
ロクマックスマット



⑤

- ロクマックスマットの上側を結束バンドで縛ります。結束バンドの端は折りたたむか、適宜不要な部分を切断してください。
- 最後にロクマックスマットの状態と結束バンドにゆるみがないことを確認します。

床：上側

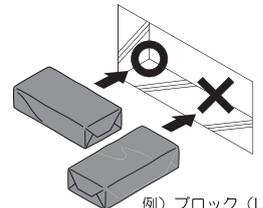
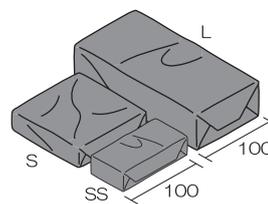


ロクマックスシートを使用する際には、製品付属の取扱説明書に従って施工してください。(ブロック充てん前作業)

⑤ ブロックの充てん方向の確認

- ブロックには充てん方向があります。全てのサイズで同じ奥行き(100mm)になるよう注意してください。

⚠ 誤った向きに詰めると、耐火性能が発揮されません。

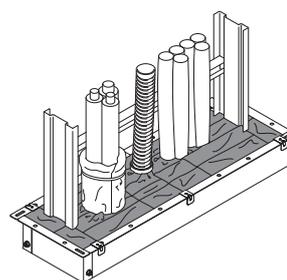


例) ブロック (L) の場合

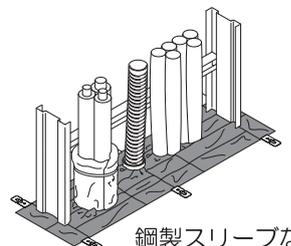
⑥ ブロックの充てん

- 詰めるスペースに合わせてブロックのサイズを選び、開口部の端から順に充てんします。
- 詰めたブロックは、手で開口の端に寄せながら次のブロックを詰めていきます。
- ケーブルの谷間等にはブロックを押し縮めるなどして、できるだけ隙間なく詰めてください。
- 全体を詰め終わったらブロックを軽く引っ張り、簡単に抜けないうえを確認してください。

- ブロックが不足する場合は別売のロクマックスブロック (RXB-SS 等) をご使用ください。



鋼製スリーブ上面施工



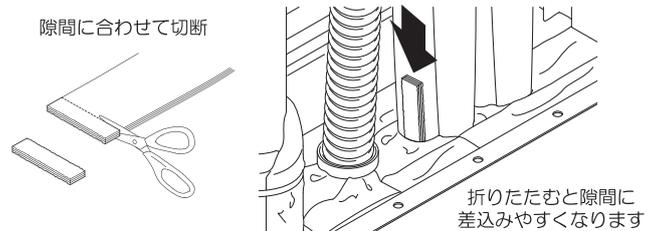
鋼製スリーブなし

⑥ 補助充てん材の充てん

- 補助充てん材は、以下のようなブロックが入らない小さな隙間に差し込んでください。

- (1) 並んだケーブルやPF管などの谷間
- (2) ケーブルラックの親周周辺
- (3) ブロック同士の間など

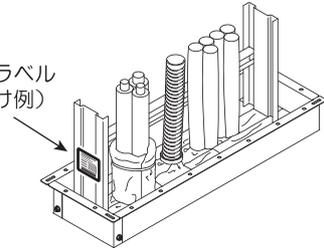
- 補助充てん材が不足する場合は別売のロックマックス 補助充てん材 (RXBJ) をご使用ください。



⑦ 確認・工法表示ラベルの貼り付け

- 全体に隙間がないことを確認します。
- ブロックの詰まり方がゆるい場合には、ブロックを手で寄せて隙間を大きくし、余ったブロックを詰めてください。
- 工法表示ラベルは、確認しやすい位置に貼り付けてください。

工法表示ラベル (貼り付け例)



標準施工図 (代表例)

※下記以外の施工図は、施工要領書でご確認ください。

鋼製スリーブ上面施工	鋼製スリーブ下面施工	鋼製スリーブなし

※1 ロックマックスシート (RXST130) ※2 専用の鋼製スリーブ (AS12020 等)

<p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 防火措置部の上には乗らないでください。防火措置材が破損し、防火性能が損なわれる恐れがあります。 ● ロックマルの各部材は、併用・混在できません。
<p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 金具を取り扱う際には保護具を着用し、角部・端部 (エッジ部) に注意してください。ケガの恐れがあります。
<p>使用上の ご注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品は、一般屋内用です。屋外やそれに準じた環境下での使用はおやめください。 ● 防水性能はありません。 ● ケーブル、配管の支持機能はありません。別途支持してください。 ● 防火措置材は、隙間ができないよういねいに施工してください。 ● 床または壁貫通部の周囲に可燃物を置かないでください。 ● 特殊な環境下で使用される場合は、事前に弊社または行政・確認検査機関にご相談ください。 ● 工法表示ラベルを紛失した場合は、弊社 HP にてご請求ください。
<p>ケーブル防災設備協議会会員：古河電気工業株式会社</p>	<p>技術事項のご相談・お問い合わせは</p> <p>株式会社古河テクノマテリアル 防災事業部</p> <p>TEL：0463-24-9341 FAX：0463-24-9346</p> <p>URL：https://www.furukawa-ftm.com/</p>
<p>工法表示ラベルの発行に関しては、 古河電気工業株式会社の委託を受けております。</p>	